

# 茨城の 土地改良

発行所

茨城県土地改良事業団体連合会

水戸市宮内町3193-3  
電話 029-225-5651代  
FAX 029-225-5239

編集兼発行人

山 口 武 平



パパがんばって（常陸大宮市） 第11回大好きいばらき農業農村フォトコンテスト入賞作品

## 主な目次

連合会第49回通常総会開催	2
新年度・就任のご挨拶（農林水産部長、農地局長、農村計画課長、農地整備課長、農村環境課長）	3
平成19年度第1回理事会開催	6
第48回全国土地改良功労者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式開催	6
農業基盤整備資金の金利改定について	7
農業農村整備事業発注者支援機関に認定	7
水土里ネット探訪 Vol. 10（麻生東部土地改良区・菅生沼土地改良区・稻荷川土地改良区）	9
第11回大好きいばらき農業農村フォトコンテスト表彰式の開催	12
県農林水産部農地局の人事異動	13
連合会の人事異動	17

## 連合会第49回通常総会開催

水土里ネット茨城（茨城県土地改良事業団体連合会）の第49回通常総会が、去る2月27日水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、関係者約300名が参集し開催された。

総会に先立ち山口会長は「食料・農業・農村基本計画に基づき、担い手の経営に着目した品目横断的経営安定対策の導入、農地・水・環境の保全の取り組みが重要な施策として位置づけられており、地域ぐるみでの効果の高い共同活動を活かした農地・水・環境保全向上対策が本格的に実施されることになっている。この施策の導入により営農活動を一体的に質を高め、長期的に地域振興の施策として計画することが求められている。このためには水・土・里の資源を次世代に適切に引き継いでいくことが必要であり、地域住民の方々と密接に連携した活動を展開するとともにまた行政等とも調整を図り、着実に実践していくことが重要である。本会としても関連する施策に積極的に取り組み、農業農村整備事業をとおして生産性の高い地域農業の確立と農村を作り出して参りたい。」と挨拶した。

引き続き土地改良功労団体及び功労者の表彰が行われ、13団体と15名の個人および本会職員2名に対し表彰状が授与された。

（敬称略）

### ◆土地改良功労（団体）表彰地区

- 箱田西部土地改良区（水戸管内）
- 麻生北部土地改良区（鉾田管内）
- 鳥名木土地改良区（鉾田管内）
- 南筑波土地改良区（土浦管内）
- 土浦市外十五ヶ町村土地改良区（土浦管内）
- 小栗用水土地改良区（筑西管内）
- 結城用水土地改良区（筑西管内）
- 西総土地改良区（境管内）

### ◆土地改良区合併（団体）表彰地区

- 宍戸土地改良区（水戸管内）
- 友部土地改良区（水戸管内）
- 桂土地改良区（水戸管内）
- 霞ヶ浦土地改良区（土浦管内）
- 西ノ洲甘田入土地改良区（稲敷管内）

### ◆土地改良功労者（個人）表彰者

- 中根 清治（福原・上稻田土地改良区理事長）
- 森田 好正（中妻地区土地改良区工事主任）



続いて橋本県知事、関東農政局長伊藤建一氏（代理：次長林田直樹氏）、飯野県議会議長の祝辞の後、来賓の紹介、祝電の披露があった。

このあと、つくばみらい市の飯島市長が議長に就き議事に入り、提出された議案第1号～第8号まですべて原案通り可決承認された。

なお、第9号議案「任期満了に伴う役員の改選について」は、理事・監事のプロック別定数に基づき、各地区から推進された役員候補者が承認された。

議事終了後、小嶋専務理事により決議（案）が読み上げられ満場の拍手により採択され、盛会裡に総会が終了した。

谷田 二郎（小高埋立土地改良区理事長）

尾崎 廣（洲崎土地改良区理事長）

土子 昭（津知地区土地改良区理事長）

中村 章（岡堰土地改良区工務課長）

野堀 和彦（つくば市土地改良課長）

浅野 丈夫（佐倉信太土地改良区理事長）

佐藤 則夫（豊田新利根土地改良区管理課長）

糸賀 良和（新利根川土地改良区総務課庶務係主査）

菅谷 義之（江連用水土地改良区事務局長）

萩野谷 勝（大井口土地改良区次長兼工事主任）

塙 史郎（吉田用水土地改良区次長兼会計主任）

寺田 文子（初崎土地改良区書記）

倉持 昇（長井戸沼土地改良区電気主任）

### ◆連合会永年勤続表彰者

- 染谷 薫（県南事業所事業計画課）[30年勤続]

- 渡辺 進（境出張所設計課）[20年勤続]

## 新年度・就任のご挨拶



茨城県農林水産部長  
**齊藤 久男**

この度の人事異動によりまして、茨城県農林水産部長に就任しました齊藤でございます。会員の皆様方には、日頃より、本県の農業農村整備事業にご理解とご支援ご協力を賜っておりますことを紙面をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

近年の農業農村を取り巻く環境は、グローバル化の一層の進展や地域間競争の激化、担い手の高齢化など、厳しい状況にあります。農業・農村の振興につきましては、「茨城県農業・農村振興計画」及び「茨城農業改革大綱」に基づき、消費者のベストパートナーとなる茨城農業の確立を目指して、茨城農業改革に取り組んでおります。本年度は、後期の改革進展期がスタートすることから、前期の評価や情勢の変化等を踏まえた年次計画を策定し、改革意識の醸成をはじめとする現行の施策項目を基本として、各種施策を強力に推進することにより茨城農業改革をさらに進展させてまいります。

具体的には、本年度から「品目横断的経営安定対策」などが導入され、認定農業者等に施策が集中化・重点化されることから、これに適確に対応するため、集落営農の組織化に向けた取り組みや認定農業者等の経営改善に向けた取り組みへの支

援などを行ってまいります。また、「いばらき営農塾」の充実を図り、認定農業者等を対象とした技術習得講座を開設するほか、産地のリーダーとなる女性農業者を養成するための研修を実施するなど、茨城農業を支える担い手の確保・育成を強化してまいります。

加えて、水田の大区画化などの基盤整備と担い手への農地利用集積を一体化に進めるとともに、高品質な農産物を安定的に供給できる「畑地かんがい施設等の整備」を進めるほか、本年度から「農地・水・環境保全向上対策」が導入されることから、農地・農業用水等の資源を地域共同で保全管理する活動に対する支援を行ってまいります。

さらに、引き続き環境にやさしい農業実践者の組織化やその活動に対する支援などを行うほか、茨城型のエコ農業の展開に向けて、エコ農業の推進方策、イメージアップ戦略等の構想を策定してまいります。これらの施策を進めるうえで、農地や農業用水等の農業生産の基盤を支えている土地改良区の役割が益々重要となっており、土地改良区の積極的な関与が期待されるところであります。

今後とも、日本の食料を支え全国をリードする足腰の強い茨城農業の実現に向け、土地改良区をはじめとする会員の皆様とともに、茨城農業改革を着実に推進してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



茨城県農林水産部  
農地局長  
**谷貝 一雄**

新年度当初にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業に、ご理解とご協力を賜っておりますことに紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

近年の農業・農村を取り巻く情勢は、国際競争の激化、農業従事者の高齢化、担い手の不足、さらには、価格競争の激化、安全な食の確保など多くの課題を抱えているところであります。このため、県では「茨城農業改革大綱」に基づき、「消費者のベストパートナーとなる茨城農業」の確立のため、消費者ニーズに対応した競争力の高い産地づくりと、農村の持つ多面的機能を発揮

できるよう環境に配慮するなど、地域特性を活かした基盤整備を土地改良区と連携して、各種施策を進めているところであります。

特に、農業改革を一層推進するためには、競争力のある産地づくりの土台となる基盤整備が重要であります。このため、水田の大区画化とあわせ、担い手などに農地を集積し、効率的で生産性の高い体制を確立するとともに、霞ヶ浦用水を活用した「畑地かんがい施設の整備」を推進し、高品質な青果物を安定的に供給できる「大規模園芸产地」を育成してまいります。

具体的には、消費者・実需者ニーズのある大粒米の生産から販売まで一貫した、「買ってもらえる米づくり産地」育成のため、「経営体育成基盤整備事業」を積極的に進めるとともに、畑地かんがい用水を活用した大規模産地の育成については、

新たに、畑地基盤整備事業の完了した地区を対象とした畑地かんがい営農推進活動に支援する、「畠かん園芸産地育成事業」に取り組んでいくことに致しました。

一方、農業従事者の減少や高齢化、都市化に伴う混住化などにより、農地や農業用排水路などの適切な資源確保が困難になってきております。

このため、県では、本年度から、農業者だけでなく地域住民なども参画して、農村のもつ自然環境や景観の保全などの活動を行う組織に対して支

援する「農地・水・環境保全向上対策」を本格的に取り組んでまいりますので、会員の皆様方の積極的な活動参加をお願い致します。

県といたしましては、引き続き「競争力のある产地づくり」に向けた基盤整備や土地改良区との連携による各種施策を積極的に展開してまいります。

最後に、茨城農業改革を進める上で、皆様方の、なお一層のご支援とご協力をお願いするとともに、益々のご活躍をお祈り申し上げまして、新年度のご挨拶いたします。



茨城県農林水産部技監兼農地局  
農村計画課長

**小山 春雄**

新年度当初にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業につきまして、ご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く環境は、農業従事者の減少や高齢化、価格競争の激化、食の安全など多くの課題を抱えてあります。

農村計画課では、土地改良事業を計画的・効率的に推進するため、「水利用調査」、「土地利用調査」などの基本的な調査を行うとともに、生産基盤や生活環境の整備を計画的に進めるため、「土地改良事業予定地区計画」や「田園環境整備計画」の策定に努めます。

また、「茨城農業改革大綱」後期対策の実現や第6次土地改良5ヶ年計画の目標達成に向け、引き続き水田・畠地整備に関する新規採択枠を優先的に確保し、計画的な進行管理に努めます。

さらに、農地及び農業用施設にかかる災害の未然防止や低下した機能の回復及び農業生産の維持、農業経営の安定化を図るため、「ため池等整備事業」、「湛水防除事業」、「地盤沈下対策事業」を推進いたします。

一方、近年の農業農村を取り巻く環境の変化に伴い、土地改良区の運営基盤が弱体化している中、安定した食料の自給率の確保を図るため、優良な農地を維持するとともに、地域における農業基盤の整備が必要であります。

土地改良区は、農村地域における重要な役割を担った組織であり、一層の体制・体質強化が望まれるところでありますので、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、「第三次茨城県土地改良区統合整備推進方針」に基づきまして、土地改良区の統合を推進してまいります。

農村計画課職員が一丸となり農業農村の振興に取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の、益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げまして、新年度のご挨拶いたします。



茨城県農林水産部技監兼農地局  
農地整備課長

**伊藤 幸平**

この度の定期人事異動によりまして農地整備課長に就任いたしました伊藤でござります。会員の皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進につきまして、ご理解、ご支援、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く情勢は、昨今の食の安全・安心に関する問題意識の高まり、農業従事者の高齢化、担い手農家不足、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えており新たな改革が求められている

ところであります。

このような中、農業・農村の振興について「茨城県農業・農村振興計画」及び「茨城農業改革大綱」に基づき、消費者のベストパートナーとなる茨城農業の確立を目指して、茨城農業改革に取り組んであります。本年度は、後期の改革進展期がスタートすることから、前期の評価や情勢の変化等を踏まえ、改革意識の醸成をはじめとする現行の施策項目を基本に各種施策を強力に推進することにより茨城農業改革をさらに進展させてまいります。

特に、基盤整備と担い手への農地集積を一体的に行い、効率的・安定的な農業経営を図るため

「経営体育成基盤整備事業」や「畑地帯総合整備事業」等を積極的に進めてまいります。

・畑地かんがい用水を活用した大規模産地の育成については、農業改革進展期を迎え、新たに、畑総事業完了地区の対策として「畑かん園芸産地育成事業」に取り組む等、更なる推進の強化を図ります。

・土地改良事業で造成された農業水利施設の長寿命化を図り、適切な保全計画、保全対策を行い、施設の有効利用の支援にも取り組んでまいります。  
・県独自の施策として、担い手への農地流動化、畑地かんがい施設整備の推進のため、「地域農業再編経営体育成基盤整備促進事業」や「畑地基盤対策パイロット事業」（制度延長）を活用し、推

進に努めてまいります。

・業務の効率的な執行体制の整備を図るため、情報の電子化、通信ネットワークの利用、電子入札等を軸とした「建設CALS / EC」の導入や効率的な工事の執行を行うため「茨城県公共事業コスト構造改革プログラム」に基づきより一層のコスト縮減に努めてまいります。

農地整備課職員一同これからの方策を積極的かつ効率的に進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様方の多大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご活躍とご発展をご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



茨城県農林水産部農地局  
農村環境課長

**畑岡 宏茂**

農村環境課長の畠岡でございます。昨年度に引き続き、よろしくお願ひいたします。会員の皆様方におかれましては、本県農業農村整備の推進に当たりまして、日頃よりご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて本県は、広大な農地と温和な気候に恵まれ大消費地に近いという有利な条件を活かし、全国有数の農業県として発展してまいりました。しかし担い手農家の減少・高齢化が進むとともに、農産物価格の低迷や耕地利用率の低下などにより農業粗生産額が下落するなど、種々の課題がございます。このため県は「消費者のベストパートナーとなる茨城農業」の確立を目指し、生産者、農業団体等と一緒にとなって茨城農業改革を推進しております。今年度からは改革後半期に入ることから、昨年3月に策定しました「茨城県農業・農村振興計画」や「第6次土地改良5カ年計画」に基づき、全国をリードする元気で力強い本県農業を創出するために、さまざまな施策を総合的に推進してまいります。

農村環境課といたしましては、この両計画を基本として、豊かな自然環境や美しい景観などの資源を活かした快適で魅力ある農村の実現を目指し、農業集落排水事業、農道整備事業、農村振興総合整備事業等を活用して、生活排水処理施設、農道、集落道路、コミュニティ活動の拠点となる交流施設の整備等を推進してまいります。また、地域特性を活かした中山間地域の活性化を実現するため

に、条件不利地域における農業生産活動等を通じて耕作放棄地の増加防止や多面的機能を維持するための「直接支払い制度」を推進してまいります。

さらに、中山間地域ならではの少量多品目の生産・加工・販売を地域ぐるみで一貫して行う「中山間こだわり産地」を育成するとともに、豊かな自然環境や地域資源を活かした都市農村交流を積極的に推進してまいります。

他方、農地や用排水路など農村の社会共通資本の保全管理は、今まで農村地域共同で行われてきましたが、農政改革の進展により共同活動への参加者がさらに減少することが予測されることから、これらを適切に保全するとともに長寿命化を図る施策が必要でございます。このため施設保全・長寿命化に取り組む地域ぐるみの共同活動に対して、国・県・市町村が支援を行う「農地・水・環境保全向上対策」が今年度から本格的に開始されることとなりました。本施策は、農村地域の活性化の起爆剤となり得るものであり、会員の皆様の持っている知見・能力が最大限発揮されますようご期待申し上げます。本施策を是非ともご活用されますようお願いいたします。

農村環境課では元気で力強い“いばらきの農業農村づくり”を目指し、職員一丸となって取り組んでまいる所存ですので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願いします。結びに、会員の皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げまして、年度当初の挨拶とさせていただきます。

## 平成19年度第1回理事会開催

茨城県土地改良事業団体連合会の平成19年度第1回理事会が、4月3日水戸市宮町の「ホテルテラスザガーデン水戸」にて開催された。

最初に、去る2月27日に開催された第49回通常総会で選任された役員紹介があり、続いて県より来賓として出席した谷貝農林水産部農地局長、小山技監兼農村計画課長、伊藤技監兼農地整備課長、畠岡農村環境課長、根本国営事業推進室長が紹介された。

山口会長のあいさつに続いて、県を代表して谷貝農地局長が挨拶をした。

引き続き議事に入り、第1号議案、会長・副会長・専務理事の互選について、第2号議案、平成19年度土地改良推進指導事業計画(案)について、がそれぞれ上程され、共に全会一致で可決承認された。

次に、第2回理事会の開催期日が、平成19年6月28日(木)に決して理事会は終了した。

役名	氏名	所属役職名	役名	氏名	所属役職名
会長	山口 武平	前沼土地改良区理事長・県議会議員	同	島田 穂一	石岡台地土地改良区理事長
副会長	高安 實	小堀江堰土地改良区理事長	同	大串 一也	南筑波土地改良区理事長
同	雜賀 正幸	豊田新利根土地改良区理事長	同	飯田 稔	桜川土地改良区理事長
専務理事	小嶋 宇内	学識経験者	同	栗山 勲	新利根川土地改良区理事長
理事	佐藤 順一	茨城町長	同	小嶋 勇	田谷川土地改良区理事長
同	山口 伸樹	笠間市長	同	中田 裕	桜川市長 岩瀬・泉川土地改良区理事長
同	草間 吉夫	高萩市長	同	笠嶋 和良	下妻市高道祖土地改良区理事長
同	関宗長	有ヶ池江下土地改良区理事長・県議会議員	同	酒井 英一	長井戸沼土地改良区理事長
同	大久保 太一	常陸太田市長	同	宇留野 邦昭	学識経験者
同	横山 忠市	麻生東部土地改良区理事長・県議会議員	総括監事	塚本 周三	中妻地区土地改良区理事長
同	小堤 章嗣	大野中部土地改良区理事長	監事	萩原 敬	霞ヶ浦土地改良区理事長
同	石川 千之	つくば市筑波土地改良区理事長	同	柴山 貞治	大井口土地改良区理事長

## 第48回全国土地改良功労者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式開催

全国土地改良事業団体連合会の第48回土地改良功労者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式が3月28日、東京都千代田区平河町のシェーンバッハ砂防にて開催された。

全国土地改良功労者表彰では、農林水産大臣表彰5地区、金章表彰地区36地区、銀章表彰地区46地区、銅章表彰地区51地区が表彰され、また、個人表彰は98名が受賞した。

農業農村整備優良地区コンクールでは、農業生産基盤整備部門7地区・農村振興整備部門7地区において、それぞれ農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞2地区、全国水土里ネット会長賞3地区が受賞した。

このうち本県からは、次の関係団体・個人が受賞の栄に輝いた。

### ◆団体表彰

(敬称略)

#### ☆金章

真瀬土地改良区(理事長:山田守)

#### ☆銀章

有ヶ池江下土地改良区(理事長:関宗長)

伊讚美ヶ原記念揚水土地改良区(理事長:荒井儀雄)

#### ☆銅章

笠間土地改良区(理事長:中澤猛)

つくば市筑波土地改良区(理事長:石川千之)

北浦土地改良区(理事長:高柳幸司)

### ◆個人表彰

#### ☆役員の部

福原・上稻田土地改良区理事長 中根清治

#### ☆職員の部

新利根川土地改良区総務課長 根本智恵子

茨城県土地改良事業団体連合会事務局長 菊池陽二

## 農業基盤整備資金の金利改定について

財政融資資金金利が改定されたのに伴い、農林漁業金融公庫が貸し出す農業基盤整備資金の貸付金利が、平成19年4月18日付けで下記のとおり改定されました。

記

(単位：%)

区分	改定前					改定後(H19.4.18)				
	融資期間に かかわらず	融資期間別(一例)				融資期間に かかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	2.05	-	-	-	-	2.05	-	-	-	-
団体営補助残	1.90	-	-	-	-	1.90	-	-	-	-
非補助	1.90	-	-	-	-	1.90	-	-	-	-
災害復旧	-	1.30	1.55	1.85	1.90	-	1.40	1.55	1.85	1.90

## 農業農村整備事業発注者支援機関に認定

### 水土里ネット茨城は 「農業農村整備事業発注者支援機関」に認定されました

平成17年4月1日に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」で「国及び都道府県は、専門的な知識又は技術を必要とする発注関係事務を公正に行うことが出来る条件を備えた者の選定等、必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と定められました。

これに伴い関東農政局及び関東各県を構成員とする品質確保協議会では、「関東協議会管内農業農村整備事業発注者支援機関認定制度」を創設、発注関係事務を適切かつ公平な立場として発注者への支援（設計・積算、技術審査、監督、検査の

各補助）が可能な機関を認定することとしました。

本会の認定は「会員の行う農業農村整備事業に関する技術的な指導その他の援助」を行う（土地改良法111条9項(1)）組織であること、及び農業農村整備事業の推進に係る様々な資格を持つ技術者が数多く在籍していること等によるものです。

この認定に甘んずることなく、今後とも会員各位並びに発注者の皆様の期待に応えるよう、なお一層の技術研鑽に努めます。



### 品質確保

農業農村整備事業に関する豊富な知識・経験を基に、関係機関との協議・調整、補助事業の申請・認可事務等を含め、企画・構想段階から測量、調査、設計、積算、換地、工事発注、工事監理、維持管理、会計検査対応まで一連の業務処理に精通しており、工事の品質確保が図られます。

### 守秘性、中立性

会員の視点に立って、守秘性、中立性を保持しながら公正な立場で技術的判断を行い、会員の支援を行います。

### 迅速な執行

農業農村整備事業に関する豊富な経験・知識を有する専門技術者が、国・県等関係機関との協議・調整等を効率的に処理できるため、短期間で実施できます。

計画から設計・積算・工事監理まで一連の業務処理能力に優れている水土里ネット茨城の支援により、品質確保とともに各種業務の効率化が図れます。

### コスト縮減

国・県・関係団体からの最新技術や積算等の情報を基に、各専門技術者が調査・設計・積算・工事監理などを行うのでコスト縮減が図られます。

## 主な技術支援業務

1. 地域振興計画等の支援
2. 事業開始手続きの支援(事業計画の作成等)
3. 調査業務の支援(測量及び地質調査等)
4. 設計業務の支援(実施設計、調査設計、積算業務等)
5. 工事発注の支援(施工管理、検査等)
6. 新たな契約方式の導入支援(民間技術力を活用した契約方法(VE)等)
7. 工事実績等情報データベース化支援
8. 計画変更の支援
9. 換地業務の支援
10. 施設の維持管理の支援
11. 管理台帳の支援(農道台帳、施設台帳、農業集落排水台帳等)
12. 災害復旧業務の支援(査定設計、復旧工事費積算等)
13. 人的支援(職員派遣)





## ◆ 麻生東部土地改良区



理事長 横山 忠市

所在 地：行方市麻生 1561-12 TEL 0299-80-6255

受益面積：338 ha

受 益 地：行方市

組合員数：530名

理 事：18名

監 事：3名

総 代：55名

職 員：1名

### 土地改良区の概要

本土地改良区は、茨城県の東南部に位置し、東に北浦、中央部に一級河川雁通川に接する水郷地帯です。

用水は、北浦に3ヵ所・雁通川に2ヵ所設置された用排水機場及び各地区に設置された加圧機場によりパイプライン方式によって各水田に灌漑されています。

排水は、北浦・雁通川に設置の用排水機場でポンプによる排水と、その他通常は勾配差を利用した自然排水により、雁通川及び北浦へと排水しております。

現在、用排水施設の老朽化がひどく、適正化事業や農業基盤整備事業等で対応してまいりましたが、今後、経営体育成基盤整備事業を取り入れ全体的に補修・改修を行っていく計画あります。

### 土地改良区の歴史

本地区は、北浦湖岸に広がる低湿地帯と谷津田に存在する水田地帯で、古来より水害と干害地帯でありました。

また、用水は用水機場2ヵ所とヒューガルポンプ37台で行っておりました。谷津田区域では、地下水、湧き水、溜め池を利用し用水していました。



竣工記念碑

排水は、一部を除きすべて自然排水であったために、低湿地帯では常時水害地帯となっておりました。

また、区画は未整備で一筆3アール程度と狭く、一戸当たり平均6団地に分散していて農作業に多大の労力を余儀なくされておりました。

以上のような状態であったため、昭和51年、旧麻生町及び関係機関のご指導のもと推進委員会を結成し、数多くの会合を重ね、昭和54年、農林水産省より、県営圃場整備事業麻生東部地区として採択され、同年12月に工事が着工されました。

本事業には、旧建設省、旧水資源開発公団、茨城県潮来土木事務所による、湖岸堤改修工事、雁通川改修工事、県道バイパス工事も取り入れられ、昭和61年度に面工事が完了しました。

この事業によりまして、用排水機場5ヵ所、加

圧機場8カ所、用水路延長83,005m、排水路延長57,884m、道路延長45,791mが完成し、現在維持管理に努力をしているところです。

また、旧麻生町内の県営圃場整備事業を実施致しました5地区の事務統合についても今後積極的に取り組み、昨今の農業情勢に順応しながら、農業の明るい未来が訪れることを願い、役員一丸となって邁進していきたいと考えております。



受益地から望む「北浦大橋」

## ◆菅生沼土地改良区



理事長 倉持 泰仍

所在地：茨城県常総市菅生町1127番地5 TEL 0297-27-0329

E-Mail : sugaonuma@kairyoku.com

受益面積：375ha

受益地：常総市、守谷市

組合員数：604名

理事 事：10名

監 事：4名

総 代：40名

職 員：4名

### 土地改良区の概要

当土地改良区は利根川と鬼怒川の合流点に位置し、茨城県常総市、守谷市及び千葉県野田市に跨る592haの地域に、水田を主体とした農地375haを抱えている。現在、1都3県14市2区1町に604名の組合員がいる。

歴史を振り返ると、この土地改良区は一部の農地を除き一面に葦や雑草の繁茂する洪水の氾濫地帯であった。地元住民の水田造成に対する意欲が強く、大正5年開田及び利根川岸の築堤工事について農林省及び内務省に陳情した。遊水地でもあったため、内務省は築堤の一部を溢流堤とする事を条件とした。住民は難色を示したが事業の承認を得るために止むを得ないとして計画を受け入れた。S10年工事着手、一時、大東亜戦争による中断を余儀なくされたが、S33年築堤工事が竣工。地区内では、国策に沿った食料増産のため、S21年茨城県農業会の委託事業、S22年国の代理開墾建設事業として継続された。S23年菅生



全組合員による維持管理活動

沼開拓農協、S33年4月菅生沼土地改良区設立、工事はS41年完成した。S56年度、この地域を近代的農業経営に適応すべく、土地改良事業による県営圃場整備事業に着工、H6年度完成。しかし、この美田も利根川堤防に設置された溢流堤から洪水時に流入する濁水や流木、葦、草、塵芥などによる被害は甚大であり、その排除対策が最大の悩みであった。この為、県営湛水防除事業として実施すべく県に申請し、H7年度着工、H15年度より滝下用排水機場の本格的な稼動を開始した。県営圃場整備後、20年あまり経過した用排水施設もあり、近年は県単事業及び適正化事業により施



滝下用排水機場



田園空間整備事業実施箇所でのイベント

設の良好な維持管理に努め、圃場内については全組合員による維持管理活動を毎年実施している。

又、H17年度には田園空間整備事業による護岸工事が竣工。地元住民や子供たちと共に、環境保全活動やバーベキュー等のイベントを通じた交流会を開催した。更に、農地・水・環境保全向上

事業に取り組むこととなり、当土地改良区全域を対象とした地域住民による組織『菅生遊水みどりの会』を立ち上げた。今後も、地域ぐるみでの活動に取り組み、圃場や農業用施設を含め地域環境の保全に全力を注いでいく計画である。

## ◆ 稲荷川土地改良区



理事長 野島 英夫

所在地：茨城県牛久市中央3-15-1 TEL 028-873-2111 内線3709

受益面積：133.7 ha (田132.7 ha、畑1 ha)

受益地：牛久市・つくば市・龍ヶ崎市

組合員数：362名

理事事：12名 監事：3名

総代：35名 職員：0名

事務委託先：水土里ネットうしく【牛久市土地改良区事務運営協議会】職員3名

### 土地改良区の概要

稲荷川土地改良区は、茨城県南部に位置し、東は土浦市・阿見町、北はつくば市、西・南は牛久沼を経て龍ヶ崎市、つくばみらい市に接している。また、当改良区東南1kmに国道6号線及び常磐線が走り、首都圏50km圏内に位置していることもあり、交通の便には非常に恵まれている。地形は、つくば市台地と牛久市台地に挟まれた東西0.2km、南北8kmの細長き地域であり、南北に1/600、東西に1/150の傾斜をなしている。用水に関しては一級河川稲荷川からの取水、地下水の採取により地区内受益地を潤している。また、排水は小排水路より支線排水路を経て、稲荷川に自然排水されているが、一部地域において、降雨時の排水問題が生じているため、排水機場による排水を余儀なくされている。

### 土地改良区の沿革

土地改良事業実施以前、本地域は、稲荷川沿岸の谷津田と稲荷川河口部に散在する浮田からなる湿田単作地帯であった。土地基盤は未整備にして、用排水系統も不完全であったため、用水かんがい



稲荷川第二機場

に苦慮し、多くの労力を費やしていた。また、確たる排水路がなく、水田越しの排水のため、降雨時に数多くの洪水被害を蒙っていた。

しかし、昭和40年代中頃に入ると、筑波研究学園都市建設に伴う稲荷川河川改修事業が実施されることになり、これと平行して浮田の集団化と河川沿岸地域の圃場整備事業を実施し、用排水路道路網の整備を計り、大型機械の導入による省力化と近代農業の促進、営農経営の安定を目指したのである。当初、事業計画地域は牛久町（現牛久市）及び竜ヶ崎市地内を予定していたが、茎崎町（現つくば市）地内も組み込み、昭和47年度に県営干拓地等農地整備事業採択後、実施設計に着手し、翌年の昭和48年度より工事着手、6年間に及ぶ長い歳月を経て、昭和53年度に工事が完了した。その後、昭和59年度より業務及び会計に関する事務を牛久町土地改良区事務運営協議会（現牛久市土地改良区事務運営協議会）に委託し、現在に至っている。



稲荷川第一機場

ホームページ等

水土里ネットうしくのHPで紹介しています。

URL:<http://homepage3.nifty.com/ushitokai/>

E-mail:ushitokai@mbh.nifty.com

第11回

## 大好きいばらき農業農村フォトコンテスト表彰式の開催



去る1月31日(水)県水戸合同庁舎において茨城県、水土里ネット茨城(茨城県土地改良事業団体連合会)主催による「第11回大好きいばらき農業農村フォトコンテスト」の表彰式が行なわれた。このコンテストは、農業農村の持つ国土や環境保全、伝統文化の保持などの多面的、公共的機能やこれらを維持・発展させるために農業農村整備事業に対し広く県民の理解を得るために、県内の農村・田畠・土地改良施設・農作業風景を対象としたフォトコンテストである。なお、入賞した40作品は次のとおりである。

### 茨城県知事賞

「キャベツ豊作の笑顔」

大倉 勇



撮影場所：筑西市

### 茨城県土地改良事業団体連合会長賞

「農繁期」

小山 忠雄



撮影場所：北茨城市

### 入賞者一覧

	氏名	題名		氏名	題名
優秀賞	渡辺一雄	ほおずきの里	佳作	谷島文夫	収穫真っ盛り
優秀賞	新堀勇	新年を彩る	佳作	山内勘	活気に満ちて
優秀賞	吉田陽子	アイガモ農法	佳作	飯田光信	収穫祭コンサート
入選	井上譲	夏の蓮根収穫	佳作	高橋寿男	ロメインレタス
入選	木村節男	里の秋	佳作	岩本順子	霜降る頃
入選	小菌江鉄雄	出荷の前に	佳作	原信田健一	収穫
入選	藤田博	重みを感じて	佳作	細谷忠義	水路
入選	植田嘉夫	ボランティア	佳作	大関栄一	冬晴れの日
入選	西山照雄	校外学習	佳作	水庭源乃	うれしい収穫
入選	宮田哲郎	刈り入れ日和	佳作	溝井弘毅	ドンド焼準備
入選	鈴木大藏	今が旬	佳作	仲根正道	光る大地
入選	廣瀬泰和	収穫の喜び	佳作	酒井永	暗渠排水事業
入選	森嶋新勝	パパがんばって	佳作	岩淵正美	出荷前
佳作	斉藤薰	タバコ農家の春	佳作	小林正和	野外学習
佳作	篠原徳子	収穫	奨励賞	樋口雪江	課外授業
佳作	山県昭彦	門松の伐り出し	奨励賞	宇佐見裕久	ひと休み
佳作	倉田裕美	豊作を信じて	奨励賞	飯竹栄司	雪どけ大地の恵み
佳作	大山雅士	刈入れの頃	奨励賞	米川貴啓	おだ掛け
佳作	野口良雄	笑顔の田園	奨励賞	石川直樹	働くおじさん

## 県農林水産部農地局の人事異動

### 農林水産部 農地局

4月1日付 順不同

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
農林水産部長	斎藤 久男	農林水産部理事兼次長
農林水産部技監	主濱 孝明	境土地改良事務所長

### 農村計画課

首席検査監	安 光 美	水戸土地改良事務所次長兼計画調整課長
技佐	塙 原 克 己	農村計画課課長補佐
技佐	平 石 昇	農地整備課国営事業推進室室長補佐
技佐兼課長補佐(技術総括)	根 本 均	農村環境課技佐兼課長補佐(技術総括)
技佐兼検査監	大 越 三 男	鉾田土地改良事務所技佐兼検査監
検査監	雨 貝 憲 造	高萩土地改良事務所工務課長
課長補佐(総括)	閔 清 一	企画部情報政策課 I T 企画室室長補佐
課長補佐	塙 原 進	商工労働部中小企業課主査
課長補佐	山野井 浩 一	農地整備課主査
主査	飯 塙 弘 幸	鉾田土地改良事務所係長
主査	塙 澤 拓 雄	境土地改良事務所工務第一課主査
係長	中 村 悟	自転車競技事務所係長
係長	鈴 木 浩 子	農村計画課主任
係長	駒 田 達 也	(企業局総務課係長)
係長	柏 木 達 陽	県北地方総合事務所係長
係長	谷 畑 幸 二	農村計画課主任
技師	竹 村 明 久	竜ヶ崎土木事務所技師
技師	木 村 真 緒 奈	自治研修所技師
技師	田 村 智 行	高萩土地改良事務所技師
主事	松 藤 彰 教	新規採用

### 農地整備課

技監兼課長	伊 藤 幸 平	農地整備課国営事業推進室長
国営事業推進室長	根 本 進	農村計画課技佐兼課長補佐(技術総括)
技佐	富 田 哲 夫	農村計画課技佐
技佐	西 溪 一 男	農地整備課課長補佐
技佐	猪 瀬 直 哉	筑西土地改良事務所工務第一課長
技佐兼課長補佐(技術総括)	飯 田 勤	農地整備課技佐
課長補佐	飯 田 俊 郎	県北地方総合事務所農政課課長補佐
課長補佐	栗 原 至	稲敷土地改良事務所工務第一課長
課長補佐	飯 村 保	土浦土地改良事務所工務第一課長
国営事業推進室室長補佐	馬 泊 次 男	水戸土地改良事務所那珂川沿岸農業水利事業推進室主査
主査	金 徹	農林水産部企画員
主査	塙 靜 雄	水戸土地改良事務所工務第一課主査
主査	大 塙 正 美	土浦土地改良事務所係長
主査	井 閔 要	(中央病院事務局主査兼施設課長)
係長	岡 野 祐 一	総務部財政課主計員
主任	根 本 克 彦	土木部都市局建築指導課主任

**農村環境課**

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
技佐	石 井 仁	農政企画課課長補佐(技術総括)
技佐兼課長補佐(技術総括)	石 塚 義 真	農村計画課技佐
課長補佐(総括)	小 蘭 江 衛	土木部河川課課長補佐(総括)
課長補佐	海 老 澤 稔	農政企画課課長補佐
主査	會 田 吉 晴	総務部管財課主査
主査	草 間 清 一	稻敷土地改良事務所工務第一課主査
主査	菊 地 琢 一	土浦土地改良事務所計画調整課主査
係長	加 藤 俊 一	農業総合センター農業研究所主任研究員
主任	荒 井 伸 之	農村計画課主任
主任	酒 入 洋 子	企画部企画課主任
技師	本 橋 修 二	高萩土木事務所技師

**水戸土地改良事務所**

次長兼総務課長	綿 引 義 光	土浦土地改良事務所副参事兼次長兼総務課長
次長兼計画調整課長	羽 生 武 雄	稻敷土地改良事務所技佐兼次長兼計画調整課長
技佐兼検査監	柳 橋 政 幸	鉾田土地改良事務所工務第一課長
検査監	小 口 晴 也	土浦土地改良事務所工務第二課長
工務第一課長	根 本 力	農政企画課農業改革推進室室長補佐
工務第二課長	所 一 郎	水戸土地改良事務所検査監
総務課主査	吉 武 幸 江	県北地方総合事務所係長
計画調整課主査	高 野 充	常陸太田土地改良事務所係長
工務第一課主査	山 田 勉	常陸太田土地改良事務所工務第一課主査
那珂川沿岸農業水利事業推進室長	檜 山 敦	農地整備課主査
那珂川沿岸農業水利事業推進室主査	谷 津 昭 洋	水戸土地改良事務所計画調整課主査
係長	渡 辺 彰	水戸県税事務所係長
係長	赤 津 好 保	高萩県税事務所係長
係長	三 村 栄 子	筑西土木事務所係長
係長	黒 羽 敏 彦	農地整備課主任
係長	砂 川 秀 典	農業総合センター水戸地域農業改良普及センター専門員
技師	根目澤 卓 男	農業総合センターつくば地域農業改良普及センター技師
技師	田 所 直 樹	新規採用

**常陸太田土地改良事務所**

所長	長 洲 仁	農地整備課技佐
副参事兼次長兼総務課長	砂 川 芳 道	農政企画課副参事
技佐兼次長兼計画調整課長	竹 垣 隆	稻敷土地改良事務所技佐兼検査監
検査監	須 能 久 德	鉾田土地改良事務所計画調整課主査
工務第一課長	園 部 定 男	常陸太田土地改良事務所工務第二課長
工務第二課長	照 沼 道 男	稻敷土地改良事務所工務第二課長
総務課主査	渡 引 勉	県北地方総合事務所県民生活課主査
総務課主査	磯 田 一 星	常陸大宮保健所総務課主査
工務第一課主査	石 川 満 男	筑西土地改良事務所計画調整課主査
工務第二課主査	高 安 輝 男	水戸土地改良事務所係長
主任	藤 江 和 彦	筑西土地改良事務所工務第二課主任
技師	川 崎 達 広	土木部道路建設課技師
技師	木 村 直 幸	高萩土地改良事務所技師
技師	仲 田 尚 矢	新規採用

**高萩土地改良事務所**

所長	小 室 清	土浦土地改良事務所技佐兼次長兼計画調整課長
----	-------	-----------------------

## 高萩土地改良事務所のつづき

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
次長兼総務課長	堀 内 茂	常陸大宮土木事務所大子土木事業所次長兼庶務課長
工務課長	皆 川 政 芳	水戸土地改良事務所那珂川沿岸農業水利事業推進室長
総務課主査	石 川 典 子	常陸太田県税事務所課税第一課主査
係長	根 本 裕 之	高萩土木事務所主任
技師	内 田 慎 一	鉾田土地改良事務所技師
技師	綿 引 孝 夫	水戸土地改良事務所技師

## 鉾田土地改良事務所

所長	大 津 武	高萩土地改良事務所長
技佐兼次長兼計画調整課長	小 沼 智 也	農地整備課技佐
次長兼総務課長	岡 田 憲 一	稲敷土地改良事務所次長兼総務課長
検査監	久 田 守 雄	土浦土地改良事務所検査監
用地管理課長	中 島 廉 二	筑西土地改良事務所用地管理課長
工務第一課長	柏 善 男	常陸太田土地改良事務所工務第一課長
計画調整課主査	郡 司 広	鉾田土地改良事務所工務第一課主査
係長	嶋崎 敏 樹	農村環境課係長
主事	大和田 里 志	水戸保健所主事
主任	古 川 秀 一	土木部河川課技師
主任	大 貫 範 幸	筑西土地改良事務所技師

## 稲敷土地改良事務所

所長	清 田 俊 昭	農地整備課技佐兼課長補佐(技術総括)
技佐兼次長兼計画調整課長	飯 田 隆	農地整備課課長補佐
次長兼総務課長	川 村 誠	行方県税事務所次長兼総務課長
検査監	木 村 義 雄	筑西土地改良事務所工務第一課主査
用地管理課長	田 村 哲 也	土浦県税事務所収税第一課長
工務第一課長	西 村 俊 夫	農村計画課主査
工務第二課長	中 川 昭 夫	農地整備課主査
総務課主査	宮 本 和 彦	広報広聴課主査
工務第一課主査	関 口 勝 行	土浦土地改良事務所係長
係長	吉 川 浩 二	水戸土地改良事務所係長
主事	皆 川 浩 和	(教育庁財務課主事)
技師	加 藤 美 穂	土浦土地改良事務所技師
技師	大 津 直 己	新規採用

## 土浦土地改良事務所

所長	福 田 一 夫	稲敷土地改良事務所長
副参事兼次長兼総務課長	富 田 吉 明	農村計画課副参事
技佐兼次長兼計画調整課長	川久保 隆	筑西土地改良事務所技佐兼次長兼計画調整課長
技佐兼検査監	関 根 栄 一	水戸土地改良事務所工務第二課長
用地管理課長	関 登	水戸土木事務所管理課長
工務第一課長	西 尾 哲 男	筑西土地改良事務所工務第二課長
工務第二課長	友 部 久 美	常陸太田土地改良事務所工務第一課主査
計画調整課主査	古 澤 尚 文	稲敷土地改良事務所係長
工務第一課主査	小 林 富 夫	霞ヶ浦用水事業推進事務所係長
係長	雨 澤 英 治	常陸太田土地改良事務所係長
主任	佐 藤 良 一	土木部都市局下水道課主任
技師	木 村 亜由美	筑西土地改良事務所技師

## 土浦土地改良事務所のつづき

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
技師	撫木 元成	常陸太田土地改良事務所技師
技師	小長谷 曜	新規採用

## 筑西土地改良事務所

所長	川崎 博	鉾田土地改良事務所長
技佐兼次長兼計画調整課長	安見 精造	常陸太田土地改良事務所技佐兼検査監
技佐兼検査監	佐藤 久司	水戸土地改良事務所工務第一課長
検査監	斎藤 清四郎	境土地改良事務所検査監
用地管理課長	野沢 宗一	水戸県税事務所課税第一課長
工務第一課長	根本 実	農村計画課主査
工務第二課長	奥村 明	農村環境課主査
計画調整課主査	原科 孝男	境土地改良事務所計画調整課主査
係長	細谷 和広	稲敷土地改良事務所係長
係長	飯島 薫	土浦土地改良事務所係長
主事	中川 和樹	保険福祉部障害福祉課主事
技師	鈴木 一将	境土地改良事務所技師
技師	若生 沙智代	新規採用

## 境土地改良事務所

所長	鶴見 政幸	鉾田土地改良事務所技佐兼次長兼計画調整課長
技佐兼検査監	柴 実喜雄	霞ヶ浦用水事業推進事務所計画調整課長
用地管理課長	諏訪 良一	筑西土木事務所用地管理第二課長
計画調整課主査	谷田部 重夫	境土地改良事務所工務第二課主査
工務第一課主査	小林 章	土浦土地改良事務所工務第一課主査
係長	稻葉 勤	県西地方総合事務所係長
主事	飯塚 厚	商工労働部職業能力開発課主事
技師	内村 伸矢	土浦土地改良事務所技師
技師	祖父江 亮介	新規採用

## 霞ヶ浦用水事業推進事務所

所長	友部 謹嚴	土浦土地改良事務所技佐兼検査監
計画調整課長	石浜 昇	農村環境課主査
係長	枝川 栄	筑西土地改良事務所係長
技師	萩原 愛	農業総合センター結城地域農業改良普及センター技師

## 退職者

3月31日付 順不同

氏名	退職時勤務課所	氏名	退職時勤務課所
足立 洋一	農村計画課首席検査監	庄司 正広	常陸太田土地改良事務所計画調整課主査
斎藤 俊二	農村計画課首席検査監	嶋崎 一	常陸太田土地改良事務所総務課主査
根本 一男	農村計画課検査監	勝村 義光	高萩土地改良事務所次長兼総務課長
黒須 拓美	農地整備課長	萩島 利孝	土浦土地改良事務所長
佐藤 英一	農村環境課技佐	川俣 重穂	筑西土地改良事務所長
高橋 賢	水戸土地改良事務所次長兼総務課長	西村 康博	筑西土地改良事務所技佐兼検査監
友部 義正	水戸土地改良事務所技佐兼検査監	富田 銀治	筑西土地改良事務所検査監
貞廣 清	常陸太田土地改良事務所長	矢口 巍	境土地改良事務所用地管理課長
半田 憲二	常陸太田土地改良事務所副参事兼次長兼総務課長	赤間 猛	霞ヶ浦用水事業推進事務所長
高安 信光	常陸太田土地改良事務所技佐兼次長兼計画調整課長	神矢 明利	霞ヶ浦用水事業推進事務所庶務課長

## 連合会の人事異動

**本所**

4月1日付 順不同

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
事務局長	渡辺 喜憲	本所次長兼総務課長
次長兼総務課長	初澤 道明	本所次長兼農村整備課長
農村整備課長	富田 宜信	県北事業所長
経理課長	坪 豊	鉢田出張所長
換地指導課長	荒川 賢司	本所調査測量室長
換地指導課長補佐	坂入 繁	本所基幹水利室長
農村整備課技術管理室長	小田木 貞夫	鉢田出張所設計課主任係長
調査測量室長	橋本 広行	県北事業所設計課長
換地指導課主査	藤田 登	県北事業所換地指導課長
施設管理課主査兼主任係長	浅尾 雅行	本所施設管理課主任係長
総務課主任係長	和田 友子	常陸太田出張所管理課主任係長
経理課係長	大山 守	鉢田出張所管理課係長
施設管理課係長	栗原 浩之	本所農村整備課技術管理室係長
施設管理課主任	貝塚 秀男	本所農村整備課主任
調査測量室主任	小池 忠則	調査測量室技師
農村整備課主事	張替 彩美	県北事業所事業計画課主事

**県北事業所**

参事兼事業所長	登坂 正行	県西事業所長
管理課長	澤山 行男	県西事業所換地指導課長
事業計画課長	今関 和夫	本所農村整備課課長補佐兼技術管理室長
設計課長	深谷 尋	常陸太田出張所設計課主任係長
換地指導課長	大森 一郎	県西事業所管理課長
管理課主査兼主任係長	安藤 弘美	本所経理課主任係長
設計課主任係長	小沢 裕市	常陸太田出張所設計課係長
換地指導課主任係長	池田 圭一	本所換地指導課主任係長
事業計画課主任	高橋 信雄	県北事業所設計課主任
事業計画課技師	小越 正浩	境出張所設計課技師
事業計画課技師	大窪 翔太	新規採用

**常陸太田出張所**

設計課主任係長	二木 裕文	県北事業所設計課主任係長
設計課主任	栗田 充	鉢田出張所設計課主任

**鉢田出張所**

出張所長	佐藤 幸一	県北事業所事業計画課長
設計課主任係長	飯村 水男	県西事業所事業計画課主任係長
設計課主任	後藤 健治	鉢田出張所設計課技師

**県南事業所**

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
事業計画課長	横 倉 一 美	県南事業所設計課長
設計課長	宇都野 茂	境出張所設計課主査兼主任係長
換地指導課主査兼主任係長	栗 山 正	県南事業所換地指導課主任係長
管理課主任係長	小 倉 充	本所総務課主任係長
管理課主任係長	藤 澤 恵 子	境出張所管理課主任係長
管理課嘱託	墳 崎 俊 子	県南事業所管理課嘱託
換地指導課嘱託	市 毛 恵 子	県南事業所換地指導課嘱託

**稲敷出張所**

出張所長	染 谷 薫	県南事業所事業計画課長
設計課主任	横 島 学	稲敷出張所設計課技師

**県西事業所**

事業所長	吉 岡 幸 雄	本所経理課長
次長兼事業計画課長	高 鳩 正 之	県西事業所事業計画課長
管理課長	塙 光 治	県南事業所管理課主任係長
換地指導課長	平 山 博 宣	県北事業所換地指導課主査兼主任係長
事業計画課主任係長	中 島 良 一	県南事業所事業計画課係長
設計課主任係長	安 田 明 義	稲敷出張所設計課係長
換地指導課主任係長	宇 野 進	県西事業所換地指導課係長
管理課主任	飛 田 博 之	県西事業所換地指導課主任
事業計画課主任	兼 村 昌 記	県西事業所事業計画課技師
設計課主任	長 洲 裕 之	県西事業所事業計画課主任

**境出張所**

換地指導課主査兼主任係長	中 川 照 夫	境出張所換地指導課主任係長
設計課主任係長	遠 藤 宗 雄	県西事業所設計課主任係長
設計課主任	菊 地 満 弘	境出張所設計課技師
設計課技師	金久保 圭 充	新規採用

**県からの派遣職員**

農村環境課技佐兼課長補佐(技術総括)	石 塚 義 真	本所参事
本所参事	平 石 昇	農村計画課技佐

**退職者**

3月31日付 順不同

氏 名	退職時勤務課所	氏 名	退職時勤務課所
菊 池 陽 二	事務局長	坪 佐代子	県北事業所換地指導課係長
飯 田 隆 司	本所換地指導課長	山 中 利 男	県南事業所稲敷出張所長
田 澤 良 子	本所農村整備課主任係長	仲 内 多嘉子	県南事業所稲敷出張所管理課主任係長
栗 原 常 夫	県北事業所管理課長		